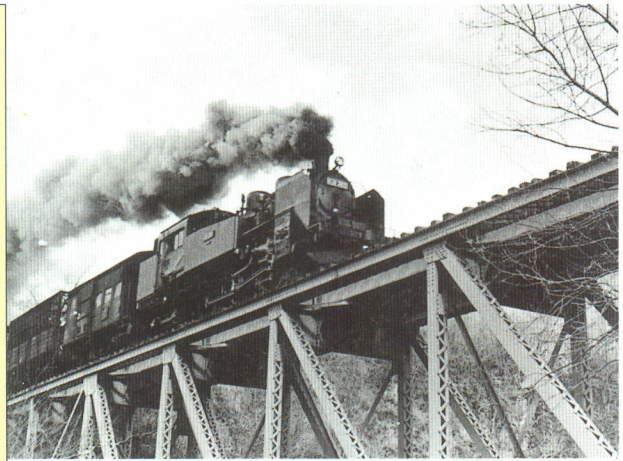
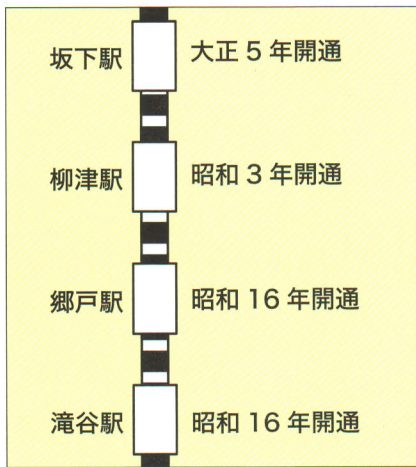


## ② 鉄道てつどうのうつりかわり

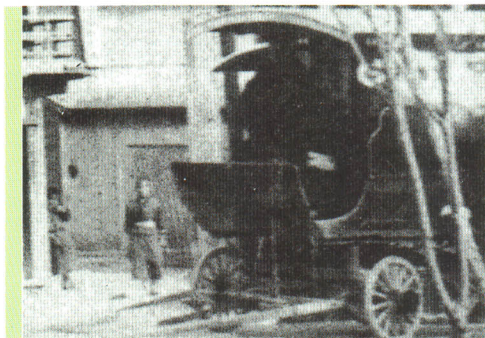


(昭和50年ごろ)

柳津町に鉄道てつどうが開通かいつうしたのは、今から70年前でした。町の人びとは、まちにまった開通だったので、大いに喜び、柳津駅は、福満虚空蔵尊ふくまん こくぞうそんの参拜客さんばいきゃくなどで大へんにぎわい、駅前えきまえに大平町おおひらちょうができあがりました。

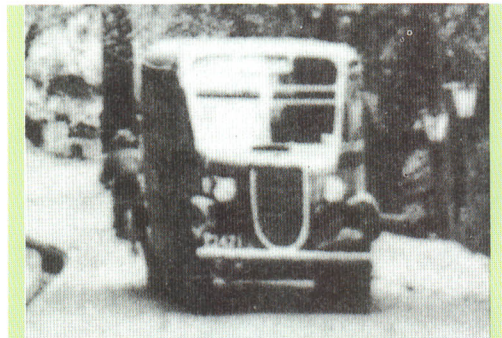
しかし、自動車りようを利用する人がふえて、利用客りようきゃくは少なくなっています。

## ③ バスのうつりかわり



▲のりあい馬車ばしや (トテ馬車)

大正はじめ、柳津町と会津坂下町の間を行き来しました。



▲12人のりバス (コマンチャール)

昭和3年、馬車にかわってはいじめて、バスかよが通いました。

バスが、今のように、数多く通うようになったのは、戦後せんご (昭和20年以後・50年ほど前) からです。